

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣商業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年1月27日(火) 13:30～15:30
- 3 開催場所 大垣商業高等学校 校長室
- 4 参加者

会 長	栗山 利宏	大垣ミナモトソフトボールクラブ専務理事
副会長	栗田 恵世	JP コーチ&コンサルティング(株) 代表取締役
委 員	堀 和英	和合地区 連合自治会長
	日比野 幸江	和合地区 民生委員
	伊藤 小夜子	本校PTA 副会長(欠席)
	後藤 千恵	本校PTA 会計監査(欠席)
	吉田 大介	岐阜協立大学 事務局長
	杉崎 康宏	大垣観光協会 副会長
	田中 禎一	大垣西ロータリークラブ 青少年育成委員長
	金森 律子	株式会社リリフル 代表取締役
学 校 側		
	増田 康宏	校長
	山田 理嗣	副校長
	衣斐 恵美子	事務部長
	平松 均	教頭
	林 圭子	教頭
	瀬瀬 サオリ	教務主任(全日制)
	井村 仁美	教務主任(定時制)
	後藤 有喜	連携推進部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 課題研究発表会について

- ・本校生徒によるプレゼンテーションを見ての意見交換

意見1

課題研究発表会をみせていただいたが、どの発表も素晴らしい。これだけの専門知識を有し、課題を自分事としてとらえ、企業課題に挑戦している姿に驚いた。また、連携企業側も通常公開しないようなデータを提供されており、覚悟を感じた。卒業後、即戦力としての活躍が期待できる。

意見 2

すべての発表を見たいと思うくらい素晴らしかった。
この課題研究は、どの程度の時間をかけて取り組んでいるのか。
→基本的に単年度の取り組みである。場合によっては、複数年継続して取り組むこともある。

意見 3

一定のルールの中で、生徒主導で取り組まれており素晴らしかった。生徒が課題研究に自分事として取り組んでいるため、プレゼン時には原稿も見ず、自分の言葉で伝えることができていて感心した。

意見 4

ドローンやプロジェクションマッピングなど、自分で考えたことを形にしていく生徒の取り組みは、とても素晴らしい。

意見 5

ドローンは、工業高校の分野ではないかと思っていたが、商業高校（ビジネス情報科）の生徒が取り組んでおり大変驚いた。

意見 6

学習環境への投資がグレードアップしている。
ビジネス情報科の作品では、素材に校歌を選び、ボカロ作品を作成されていたので、大商生らしさを感じた。デジタルが自由に使える力は、社会でいま求められているものであるため、高校で学んでいてくれてありがたい。大商での学びが就職時につながるとよい。
商業科の使命は実践である。活躍できる場、提供できる人、取り組みの道筋を、サポートする側として引き続きそろえていきたい。

意見 7

ビジネス情報科の生徒は、先生方も驚くような作品を制作している。大学入試の面接などで、自分が高校で学んだことを、進学後どのように活かしていけるかを語るができるのは大きい。

（2）自己評価・学校関係者評価について

・自己評価について報告

意見 8

本協議会も含め、いろいろな方々の意見をいただき、生徒のための改善をおこなうというサイクルが上手くできている。

意見 9

最近、メンタル面に脆弱性がかかえている若い方も増えている。高校でも、ケアをしていただいているのはありがたい。

意見 10

和合地区高齢者ふれあい交流会には、多くのプログラムを大商生に出していただき、大変喜ばれている。地域祭りにも協力して盛り上げてもらっている。和合地区センター祭りの取り組みは、高校生の協力が特徴となっている。吹奏楽部の公演なども質の高い素晴らしい演奏であった。

意見 1 1

大商のInstagramの取り組みは、企業の方々も閲覧されており、PRがしっかりとできている。今後も積極的に取り組んでいただきたい。他校ではできないレベルの取り組みとなっている。

→ **daisho.gram** では、大商生のありのままの姿を中学生にPRしていきたいと思っている。卒業式についても配信を準備している。

意見 1 2

本協議会は、大商の応援団としてバックアップしていきたい。

6 会議のまとめ

- ・第3回学校運営協議会では、生徒による課題研究発表会を参観し、本校の教育活動、地域連携の在り方について様々な立場から意見が得られた。
- ・自己評価に対する意見も踏まえ、来年度の学校運営やふるさと教育推進の改善に活かしたい。